

品質経営度調査ベンチマーク支援サービス 総合レポート サンプル

株式会社 日経リサーチ



評価結果からわかる貴社の強みと弱みを一覧できる形で表しています。

①6側面ベースでの貴社の位置付け

- 6側面のうち、最も貴社の強みとなる側面…

顧客・社会への信頼の確保

- 6側面のうち、最も改善が期待される側面…

クレーム管理と仕組みの水平展開

②57項目ベースでの貴社の位置付け

- 57指標のうち、貴社の強みと考えられる項目

項目名	参照Q番号
[1] 品質重視の考え方の位置付けと普及	AQ1
[13] 品質経営とCSR活動	AQ30,AQ31
[22] 社長や経営幹部による品質経営診断の実施	AQ10
[38] 職場の品質意識向上のための管理者・監督者の対応	BQ29

- 57指標のうち、指定企業と比較してギャップがあり、かつ貴社の業種・業態から考えても改善余地ありと考えられる項目

項目名	参照Q番号
[18] 品質以外の重要課題に関する方針管理活動	AQ6
[24] 全社の『製品』の市場品質不良コスト	AQ22
[43] 市場品質トラブルから来る苦情を適切に処理する仕組み	BQ4
[53] クレームの目標値管理	BQ3
[54] 品質不良コストの把握	BQ6,BQ31

1.指標別まとめ（Aパート）

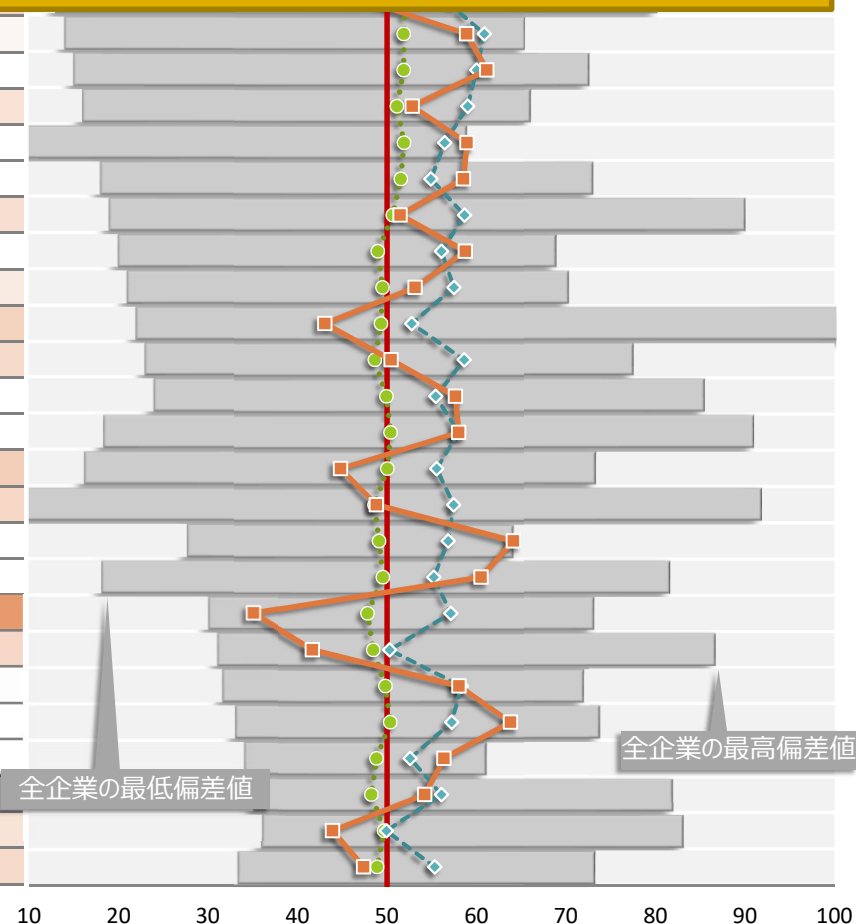
	貴社	業種平均		
[1] 品質重視の考え方の位置付けと普及	61.8	50.6		
[2] 企業理念への人間性尊重の考え方の反映	59.1	51.0		
[3] 品質経営についての収集・分析	50.0	49.8		
[4] 品質経営推進組織	54.7	50.2		
[5] 重大な品質事故への社長の対応	46.7	52.1		
[6] コンプライアンス・モラルハザードへの社長の未然防止策	58.9	51.9	60.9	-2.0
[7] コンプライアンス・モラルハザードへの未然防止策	61.2	51.9	60.0	1.2
[8] 組織文化向上への活動の進捗	52.8	51.1	59.0	-6.2
[9] 重大な品質事故の発生した場合の対応方法	59.0	51.9	56.4	2.5
[10] 重大な品質事故時の顧客被害拡大防止の対策	58.5	51.5	54.9	3.6
[11] 重大な品質事故を未然防止するための取り組み	51.5	50.6	58.6	-7.2
[12] エンゲージメントサーベイの実施	58.8	49.0	56.1	2.7
[13] 品質経営とCSR活動	53.1	49.5	57.5	-4.3
[14] 最新技術を用いた取り組み	43.0	49.3	52.7	-9.7
[15] 働き方改革と品質経営の関係	50.5	48.6	58.6	-8.1
[16] 品質活動責任者と推進組織	57.7	49.9	55.4	2.2
[17] 品質方針の策定	58.0	50.4	58.0	0.0
[18] 品質以外の重要課題に関する方針管理活動	44.8	50.0	55.5	-10.7
[19] 社長による品質活動の確認	48.8	48.6	57.4	-8.6
[20] 社長による日常的な業務活動の確認	64.1	49.1	56.8	7.3
[21] コロナ禍における現場の空気感を実感する努力	60.5	49.5	55.2	5.3
[22] 社長や経営幹部による品質経営診断の実施	35.0	47.8	57.1	-22.1
[23] 過去5年の品質関連の受賞	41.7	48.4	50.3	-8.6
[24] 全社の『製品』の市場品質不良コスト	58.1	49.8	58.3	-0.2
[25] 品質教育と人材育成	63.8	50.4	57.2	6.6
[26] マネージャークラスの品質教育計画	56.4	48.8	52.6	3.8
[27] 品質経営教育に関わる費用の把握	54.2	48.3	56.1	-1.9
[28] 提案制度を設けている割合	43.9	49.7	49.9	-6.0
[29] 小集団改善活動への参加率	47.4	48.9	55.3	-7.9

* 赤いラインが偏差値50(平均点)

細かな評価項目ごとに、貴社偏差値と業種、指定企業の平均偏差値が一覧比較できます。

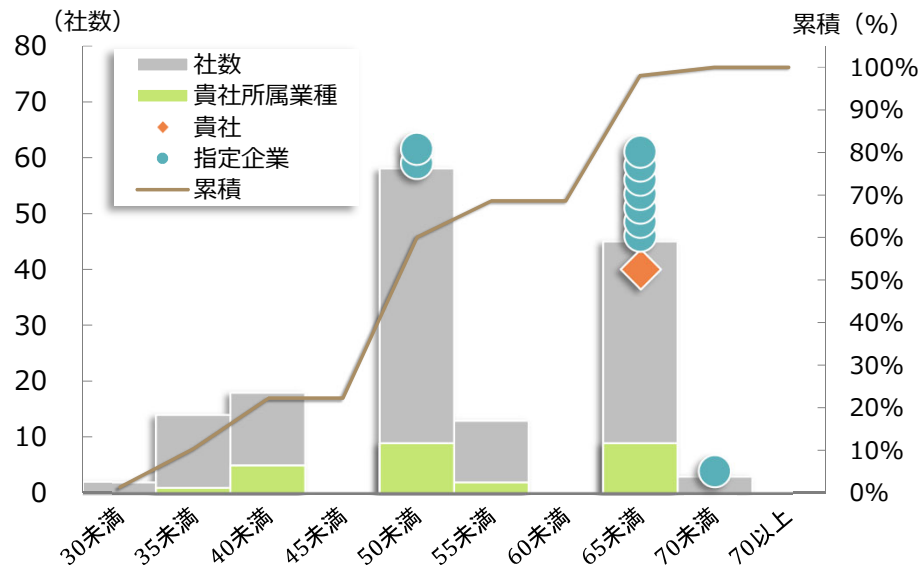
※指定企業は新聞掲載企業を参考に5社以上でご指定ください。

※掲載外でも気になる企業がありましたら別途比較可能か個別に確認いたします。



顧客・社会への信頼の確保

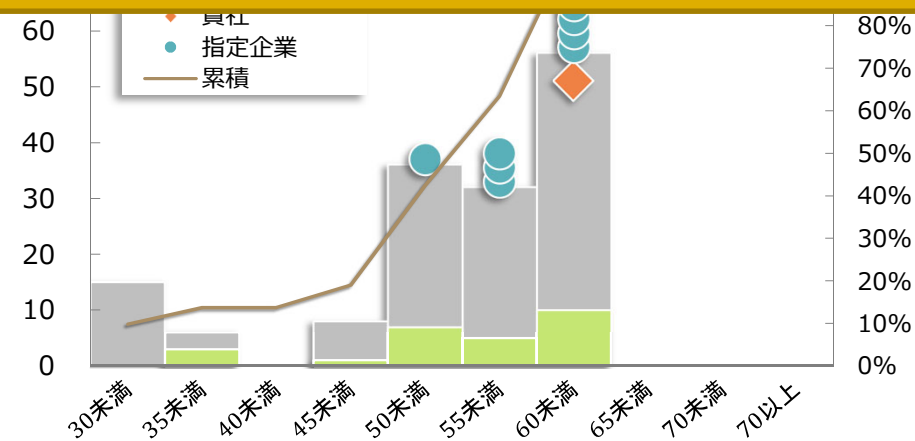
[1]品質重視の考え方の位置付けと普及



貴社偏差値

61.8

	社数	最高	最低	平均	中央値
全体	153	69.4	9.0	49.5	46.8
貴社業種	26	61.8	31.7	50.6	
指定企業	10	69.4	46.8	59.6	



貴社偏差値

59.1

	社数	最高	最低	平均	中央値
全体	153	59.1	10.0	49.5	52.9
貴社業種	26	59.1	34.3	51.0	
指定企業	10	59.1	46.7	56.0	

※ 体裁を整えるため、文章は一部改変しています。また、企業が特定されるような具体例や固有名詞は、
※ ここで掲載しているのは加対象となった回答の一部で、全てではありません。企業が特定されかねない

社長の意思と意欲の根底にある「お客様要求品質第一」への強いメッセージをグループ全社員が毎日繰り返す（広義の品質）対応」に関する項目として、いわゆるバットニュースファーストについて、決して叱らないこと（後）、直ちに伝えないことには厳罰を、など、心理的安全性をトップが宣言して社内に浸透させていることで見違える程、文化となったこと。

顧客要求の高まりに応えるべく、中期経営計画2025の策定タイミングである2023年に「質の高い製品とサービスの提供」を目指し、品質保証本部が独立組織として設けられた。この組織は、品質保証と安全に関する活動を牽引し、現場の実態把握や体制の見直しや新設を迅速に行うことを目的としています。本部設立後、製品およびサービスの品質改善活動を推進するため、各種会議体や分科会の設置を進めました。過去にも同様の取り組みは存在しましたが、今回、社長自らがリーダーを務め、品質向上が上ってきています。一例として、納入時のキズ打痕が対前年比で30%減少しました。また、発生してしまった品質課題に対しても、品質保証本部が迅速に対応し、社内システムに各種品質情報を関連付ける仕組みが構築され、品質課題の顕在化と迅速な対応に大いに貢献しています。この体制により、品質経営が推進されています。

2021年度～2025年度の5ヶ年の中期経営計画を策定し、「感動を創造していく会社」をビジョン抽出シート」を鑑みながら部門毎の実施事項と品質目標を設定し、計画的に確実に品質向上に努める適切なアドバイスを得、速やかに改善業務を実行している。また、品質目標に関しては、1人1人と共に、目標達成に向けた適切な指示・アドバイスを受け、品質改善に向けて取り組む浸透し、「品質力」が当社の強みになっている。その結果、顧客の新規取引も

当社は3年単位で品質改善方針と施策を打ち出し、
影響度、改善、標準化、効果確認）を4年計画で65課題の解決に取り組んでいます。企画→評価
年間で不適合コストを10%削減し、全員参加

取り組みの参考としてお使いいただけます。
※個社が特定できないよう配慮しています。

4. 全社の市場品質不良コストの増減

AQ22SQ3SSQ

SQ1で回答された市場品質不良により生じたコストの対売上高比率は、2021年度と2020年度に比べて、どの程度増減しましたか。（1つだけ）

品質不良コスト、品質教育コスト、提案制度、小集団活動について、評価項目ごとに指定企業との比較をプロットして表しています。

業種、業態、全社売上高別の平均も表示し、貴社のポジショニングが確認できます。

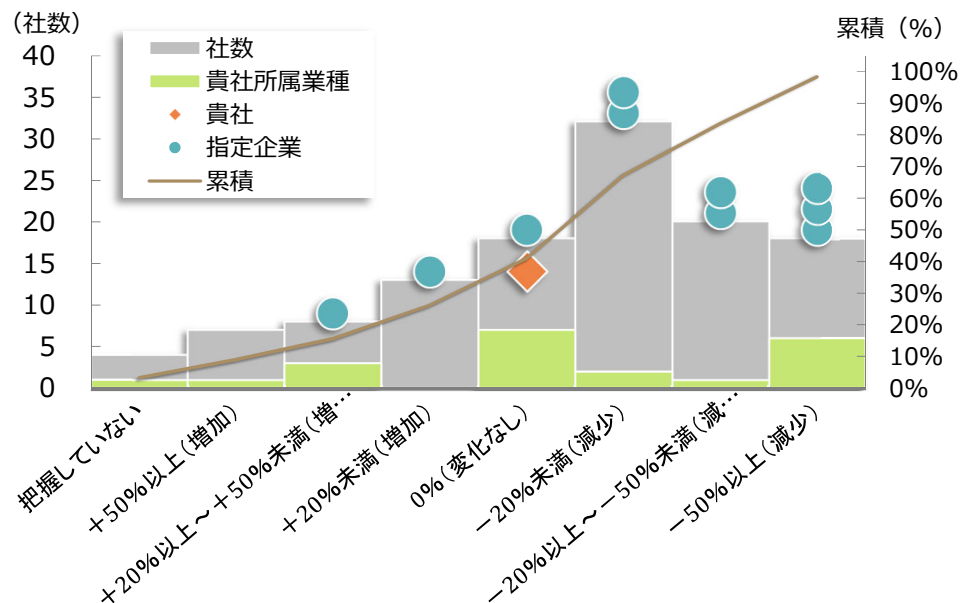
※どの点がどの企業かはわからないようになっています。

※個別回答のわかってしまうカスタマイズはお受けできません。

石油・ゴム・窯業・金属	1.0
機械・精密機器	-4.7
電気機器	-13.1
輸送用機器	-6.9
建設	-23.2
その他	-20.4

組立	-7.5
サービス	-23.4
【全社売上高】	
1000億円未満	-16.8
1000～3000億円未満	-1.9
3000～5000億円未満	-19.3
5000億～1兆円未満	-4.6
1兆円以上	-16.4

「回答の分布」



貴社回答

0% (変化なし)

	社数	平均
全体	122	-12.5
貴社業種	21	-17.1
指定企業	10	-27.0